



**情報開示特集(保育・高齢者・障がい)**  
 令和6(2024)年度 研修報告/地域貢献活動報告/事業報告/決算報告  
 令和7(2025)年度 研修計画/事業計画/資金収支予算(4~10面掲載)

**巻頭言**  
 対人福祉サービスの担い手として必要な`人財、を確保し、  
 丁寧に育成、定着を図る努力を着実、継続的に進めよう — 2

福祉にも通じる変化への挑戦 6法人合同研修会 — 3  
 東京オリンピック銀メダリスト(空手女子「形」)清水希容さん講演

地元農家から年間消費の「コシヒカリ新米」を一括購入 岩戸ホーム — 3

保育現場ですぐに生かせる実践型研修も 愛育園合同研修会 — 4

就活生応援メッセージ — 4~5  
 園 菜里さん(認定こども園千里丘愛育園)/ 松本圭太さん(ライフ・ステージ 舞夢)

浄水場まで徒歩往復で給水 断水想定災害訓練 吹田竜ヶ池ホーム — 5

手づくり玩具コーナーに続く「せつしこどもフェスティバル」 認定こども園一津屋愛育園 — 6

無料巡回バス活用で大盛況 元気まつりに118名参加 高槻けやきの郷 — 7

若年層を地域で支えあう「受援力」を高めよう 認定こども園きりん愛育園 — 11

「びかチュー」摂津市環境美化ボランティアに事業所登録 ココリス — 11

トピックス — 12



● ● **かがやき農園プロジェクト** ● ●  
**ちっちゃいねー、ナスの種って**

認定こども園千里丘愛育園では5月7日、4.5歳児クラス(計107名)が、食育活動の一環でナス・ピーマンなど夏野菜の種を苗ポットにまきました。

「ナスの種って、黄色でちっちゃいねー」と指でつまみながら興味津々(写真)。種まきした小さな苗ポットからの発芽を楽しみに「かがやき農園プロジェクト」の茨木市佐保地区の畑地(「ききょう」2025新年号掲載)への植え替え時期まで、毎日水やりをして成長を見守っています。



**人懐っこいワンちゃんたちが  
 笑顔を広げる  
 ドッグセラピー効果も期待**

サンヒルズ紫豊館では5月7日、同スタッフが自宅で飼育しているワンちゃんたち(犬2匹)が来訪し、ご入居者と触れ合いました。

ご入居者との会話から、「昔は家に犬がおったけどなぁ」と懐かしまれたことがきっかけです。ワンちゃんたちは、すぐに他のスタッフやご入居者に擦り寄って、人懐っこさをアピール。「大人しいなぁ!かわいい!」とご入居者から話し掛けながら撫でまわされる人気ぶり。ドッグセラピー効果(\*)も期待され、普段以上に会話や笑顔が広がりました。



(\*)ドッグセラピー効果 犬を通して他人とのやりとりが生まれることなど、コミュニケーションの拡大や表情が豊かになることも期待できる

**【法人理念】**

1. 個人の尊厳を旨として、その人にふさわしい最善のサービスの提供に努める。
2. 地域に開かれ、愛され、地域福祉の拠点となる施設経営を目指す。
3. 専門的知識、技術の研鑽に努め、誇れる施設を目指す。

**【サービス目標】**

1. オンリーワンとナンバーワンを目指す。
2. オンリーワンとはその施設にしかない特色の創造であり、ナンバーワンとはご利用者の処遇の満足度を高めるため、常時積極的な取り組みをすることである。

**【愛育園経営方針】**

1. 新しい時代に生きる力の基礎を培う。
2. 女性の社会参加の支援に貢献する。
3. 地域子育て支援を積極的に行い、子どもの成長を喜ぶ社会の実現に寄与する。

**【高齢者施設経営方針】**

1. 安らぎのある生活と環境を提供し、生きる喜びを創造する。
2. 介護機能の多様化を図り、ご利用者に対し、総合的なサービスの提供をする。
3. 地域の一員として、地域福祉の活性化に貢献し、超高齢社会のセーフティーネットの機能を発揮する。

**【障がい施設経営方針】**

1. その人らしく健やかにともに暮らし、希望をもって社会参加できる環境を提供する。
2. 地域の中で個々のニーズに合った専門性の高い総合的なサービスを提供する。
3. 地域にあって良かったと誰もが笑顔で過ごせる、信頼される施設運営を目指す。

【発行日】2025年7月  
 【発行】社会福祉法人 成光苑 (理事長 高岡 國士)  
 〒566-0001 大阪府摂津市千里丘3丁目16-7  
 TEL.06-6330-3776 FAX.06-6388-9551  
 URL. <https://swc-seikouen.or.jp/>

★「ききょう」の由来  
 創業者が愛した京都府福知山市は、冷泉を利用して地元に開放するお風呂を作り、当法人として老人施設を初めて開設した地。その福知山市の花である「桔梗」から名づけられました。「ききょう」の花言葉は「変わらぬ愛」「誠実」「感謝」「気品」。

QRコードで簡単アクセス!



珍しい!

**初のサンドブラスト体験会  
 オリジナルマグカップにご満悦**

摂津市老人福祉センターせつづ桜苑(特別養護老人ホームせつづ桜苑併設)で4月4日、同センターの陶芸室で「サンドブラスト(\*)体験会」が初めて行われ3名が参加されました。

講師は同施設の松浦慈英スタッフで、スタッフ同士の何気ない会話からサンドブラストの技術があることを知り、多くのスタッフから関心が高まっていました。藤原義章同施設長に同センターの新しい取り組みとして提案したところ、参加者を募ってみることに。専用シートに絵や文字をデザインしステンレスマグカップに貼り付け。機械の操作方法を確認し、同スタッフが付き添っての吹き付け作業。「おー! コレええなぁ」上々の出来栄に歓声と笑顔が見られ、世界に一つだけのオリジナルマグカップにみなさんご満悦でした。

(\*)サンドブラスト 砂や投射材を圧縮空気により吹き付けて、加工物の表面を削る加工方法のこと



吹き付け作業



巻頭言



対人福祉サービスの担い手として必要な「人財」を確保し、丁寧な育成、定着を図る努力を着実に、継続的に進めよう

理事長 高岡 國士

長期的な視点で、実りある福祉分野の審議を期待

参議院議員通常選挙の投票日が7月20日に行われ、与党が衆議院に続き、参議院でも議席が過半数割れとなり、当面の国会運営は困難が予想されます。その結果はともかく、今回の選挙では、物価高やコメ政策、トランプ米政権による関税措置への対応などが争点となりましたが、社会福祉分野でしっかりとした公約を掲げ、貢献してもらえらる候補者に票を投じていただけたでしょうか。

「そもそも論」になりますが、「参議院」とともに、日本の国会を構成するのが「参議院」です。参議院議員の任期は6年。3年ごとに半数改選され、任期途中の解散はありません。そのため、長期的な視点で調査・審議ができるという利点があります。一時的な世論や内閣の動きなどに惑わされることが少ないことも、参議院の特長であり、「良識の府」と言われる所以でもあります。社会福祉の分野でも長期的な視点で実りある審議を期待したいものです。

介護・障がいなど福祉の賃上げ方針が示された「骨太の方針」

政府は経済財政運営の基本方針「骨太の方針」

針」を閣議決定しており、特に、介護・障がいや保育分野についても公定価格引き上げを明記、25年末までに結論が得られるよう検討するとしています。

国会終了後の石破茂内閣総理大臣の記者会見でも、介護・保育・福祉の公定価格引き上げを明言しました。政府は「骨太の方針2025」で、医療・介護・障がい福祉等の公定価格の賃上げや経営の安定、人財確保などに向けた対応を進める方針を示しました。厚生労働省は、施策の効果を見極めつつ、現場の賃上げと経営安定につながる的確な対応を継続する方針であります。

気がかりな人財確保を乗り越えるために

私たち、社会福祉法人にとって、「必要な人、必要な人に、必要なサービスを」という理念のもと「困っている人には手を差し伸べる」ことが私にとつての信念のひとつであり責務であると考えています。法人経営をしていく上で、私の一番の気がかりは、やはり人財確保であります。

厚生労働省が6月4日公表した2024年の人口動態統計によると、統計開始以来初めて出生数が70万人を下回り、少子化の

進行は国の将来推計より約15年早く進んでいるとのことであります。また、政府が閣議決定した高齢社会白書では、介護職員数が要介護認定者数の増加に伴い年々増加していたが、2023年度は初めて前年度よりも減少し、212.6万人（前年比2.9万人の減少）になったとのことであります。

今後、子どもや高齢者、障がいを持つ方々への対人福祉サービスの担い手として、日本人、外国人を問わず、法人（園・施設）として必要な人財を確保し、丁寧に育成しながら、定着を図る努力を着実に継続していくことが重要であると考えます。

当法人としても、社会福祉法人の本来に則り、社会福祉事業にかかる福祉サービスの供給確保の中心的役割を果たすだけでなく、既存の制度の対象とならないサービスの提供、つまり地域における公益的な取り組みを継続していくことが重要との認識のもと、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実に、効果的かつ適正に行いながら、地域福祉の拠点として、10年後も地域の住民から信頼され、愛される園・施設の運営に努めてまいりますので、関係各位には今後とも変わらぬご支援ご指導をよろしくお願い申し上げます。

# 若年層を地域で支えよう「受援力」を高めよう その名も「ドリームチーム」

認定こども園きりん愛育園の高橋佳子園長ら3名は6月12日、吹田市立山田中学校で行われた「受援力（\*1）を高める福祉教育プロジェクト」の第1回会議（参加団体：吹田市、吹田市社会福祉協議会、不登校支援団体など）に参加しました。活動名称は「ドリームチーム」に決まりました。

## 吹田市の福祉教育プロジェクトに参画

深刻な社会課題として、不登校やヤングケアラー（\*2）など、若年層が抱える生きづらさが複雑化しています。同市では主に中学生を対象とした地域福祉教育を実施する目的で、困ったときに他者に適切に頼れる力「=受援力」を高め、地域住民みんなで支え合うことができる地域が広がるきっかけづくりとしてこのプロジェクトを発足させました。各団体からは、不登校支援の活動状況の説明をはじめ地域ぐるみの福祉教育の必要性が訴えられました。

同園は未就学児対象の福祉施設ですが、プロジェクトメンバーの同市社会福祉協議会から「地域で長年福祉に携わってこられた視点から協働してほしい」という要請があり参画を決めました。高岡國士理事長の「困っている人がいたら手を差し伸べる」という理念も背景にあります。「ドリームチーム」の本格的な活動はこれからですが、会議参加や必要に応じて支援機関や制度、居場所を知ってもらうためのアイテム作成にも協力するなど地域福祉の一助になればと考えています。

（\*1）受援力 困ったときに他人に助けを求めたり、援助を受け入れたりする力や心構え  
（\*2）ヤングケアラー 一般に本来大人が担うべき家族の介護や世話を日常的に行っている18歳未満の子ども

## 日中「高齢化問題」共通の解決策を模索

介護テクノロジー導入に注目集まる せつつ桜苑

せつつ桜苑に大阪府から施設見学の依頼があり、4月17日、一般社団法人日本吉商連合会（\*）の孫鉄騎会長（中国吉林省出身）ら関係者8名が来訪されました。

同施設は、令和6年度大阪府介護ロボット導入支援事業に参画（「ききょう」2024秋号掲載）、介護生産性向上の取り組みの普及を担う「大阪府介護生産性向上モデル事業所」に認定されていることから、この施設見学を受け入れました。

中国（特に東北地区）では、日本同様に高齢化問題に直面しており、介護サービス体制の整備が喫緊の課題となっているそうです。

松田有里同施設課長が、実際に入居者に使用している「スタンディングリフト」、「自動体位交換付きエアマット」、「見守りセンサーシステム」（写真）など、介護の未来を支えるインフラとなりつつある介護テクノロジー搭載の福祉機器を可動して説明。見学者から「センサーはスリムで違和感が少なくて良いですね」とか、リフト移乗体験では、スムーズさに感激される場面も見られました。



（\*）一般社団法人日本吉商連合会 中国吉林省出身の実業家たちによるネットワーク「吉商（吉商人）」の日本支部的な役割を担っており、医療・福祉分野を中心に日中間の民間交流や事業提携を推進

## 「びかチュー」コリス 摂津市環境美化ボランティアに事業所登録 生活介護ご利用者5名参加



コリス（障がい福祉サービス生活介護）では5月13日、環境美化ボランティア（摂津市生活環境部環境生活課主管）に事業所登録（登録者1,850人以上）し、ご利用者5名とスタッフ2名が地域清掃を行いました。

このボランティア活動は、毎月第4火曜日に「びかほチューズデー」（略して「びかチュー」）として実施されています。

同施設では、これまでも自主的に地域清掃活動を行っていましたが、「びかチュー」を通じて、さらに社会との接点や交流促進を目的として登録参加することにしました。

この日の清掃は、ご利用者のサービス利用時間帯の都合で「びかチュー」の日ではありませんでしたが、登録支給品の「お揃いのビブス」（写真）を着て活動したことで、一体感や地域住民への啓発効果も抜群。「（ビブス）カッコいいね」とスタッフからも声を掛けられ、参加したご利用者は、達成感や自信を高める機会になったと思われます。今後も連帯感やつながりを育みながら、地域の一員として地道に取り組みたいと考えています。

# 福祉にも通じる変化への挑戦 優先順位に従い今やるべきことに集中力を

## 講演要旨

「何事も基礎と継続が大切。優先順位によって今やるべきことに集中して経験を積み重ねることで目標に近づける。また、基礎を大切にしながら、変化を恐れず、新しいことにも挑戦しないと成長できない。オリンピックで負けて(金メダルを逃して)しまったことは今でも悔しいが、「感動をありがとう」と多くの方から言葉を掛けられ「結果が全てではない」という捉え方に気づいた。「私の演武で喜んでくださる方がいる」と実感できたことがオリンピック出場の成果でもあり財産になった。今後も空手を通じて人の役に立ちたい」

## 参加6法人一覧(法人本部所在地)

- ・社会福祉法人こうほうえん(鳥取県)
- ・社会福祉法人大阪自彊館(大阪府)
- ・社会福祉法人クムレ(岡山県)
- ・社会福祉法人青山里会(三重県)
- ・社会福祉法人みねやま福祉会(京都府)
- ・社会福祉法人成光苑(大阪府)



第39回6法人合同研修会(今回は社会福祉法人成光苑主催)が5月15、16の両日、新大阪ワシントンホテルプラザで「日本の福祉を支える更なる挑戦」をテーマに行われ、こうほうえん、大阪自彊館、クムレ、青山里会、みねやま福祉会の各法人代表はじめ約120名が参加されました。初めに、各法人代表者から地域に根ざした取り組みなど近況報告があり、成光苑は「経営品質向上の取り組みについて」(日本経営品質賞挑戦)、「連携がひらく未来」(異業種連携の実践事例と成果)など、「10年後も地域から一番頼りにされる社会資源になる」をスローガンに掲げて活動中の取り組みについて実践報告を行いました。また、初日の外部講師には2020年東京オリンピック銀メダリスト(空手女子個人形)の清水希容(きょう)さん(三起商行株式会社)を招き、清水さんは「空手家としてのこれまでのプロセスと現役引退後のキャリア」と

(\*)オヤドマリノバツサイダイナミックな動きとスピード感が求められる高難度の形。攻防のバランスが美しく、清水(元)選手の代名詞ともいえる演武

## 2020年東京オリンピック銀メダリスト 清水希容さん(空手 女子個人「形」)が講演 パワフルでスピード感あふれる演武も披露

題し講演(要旨別掲)。「負けた(金メダルを逃した)ことは悔しいが、感動をありがとう」と多くの方から言葉を掛けられ、結果が全てではないという捉え、方に気づいたと、人間的成長と「空手を通じて人の役に立ちたい」という思いを表現されました。懇親会では、同オリンピックで演武された形「オヤドマリノバツサイ」(\*)を披露(写真)、息を止めるようにして見入る参加者の目の前で、テレビ観戦でも見せてくれたパワフルでスピード感あふれる動きに、総立ちで大きな拍手が沸き起こりました。福祉にも通じる貴重な体験とパワーを与えてくれた清水希容さん、ありがとう！

## 地元農家から年間消費の 「コシヒカリ新米」を一括購入

### ご入居者・ご利用者の主食として毎日提供 岩戸ホーム

岩戸ホーム(福知山市)では昨年10月、地元農家が参加する天座農地管理会(「ききょう」2023夏号掲載)から、年間消費分の玄米「天座産コシヒカリ新米(12トン)」を一括購入、ご入居者・ご利用者の主食として毎日提供しています。

今回購入したお米は、同施設敷地内の専用倉庫で温度管理、施設スタッフが精米したお米を、鮮度のよい状態で、同施設の給食委託業者(株式会社マルタマフーズ)に納品する流れです。お米は、きれいな水源を使っており品評会でも高評価。ご入居者も「噛めば噛むほど甘みがあり(食事が)進むなあ」と大好評です。

もともと3年前に施設への地域相談(農業の担い手不足、安定収益の確保への不安など)を受けたのが購入のきっかけ。現在は同施設が異業種(福祉・農業・企業)の中継拠点となっています。また、災害時の地域備蓄米としての役割など相乗効果にも繋がっています。

周知の通り、「令和の米騒動」とも呼ばれるほどお米の価格高騰で入手困難となり政府備蓄米を放出する事態となりましたが、タイミングよく同施設が天座農地管理会との契約に至ったことは、組織として価値を生み出す経営の視点や地域活性化にも一石を投じるものと期待されます。



スタッフ精米の様子

## 地域活性化にも一石を投じる

### 日本生産性本部「2024年度日本経営品質賞」表彰式

「受賞は新たなスタート、継続的に進化し続け、本賞(最上位の賞)を目指したい」と決意を述べる高岡理事長



社会福祉法人成光苑の高岡国土理事長はじめ経営品質向上プロジェクトメンバー(14名)は、日本生産性本部主催の「顧客価値経営フォーラム2025」(3月3日、東京・都市センターホテル)で行われた「2024年度日本経営品質賞」の表彰式に出席、同賞奨励賞を受賞しました。

受賞したのは4組織(事業)で、昨年11月中旬に正式決定(「ききょう」2025新年号掲載)。日本経営品質賞の対象組織は異業種にわたりますが、今回、社会福祉法人の受賞は成光苑のみ。顧客価値経営が実践され始め、いくつかの変革活動に取り組み、その成果が出始めていることが評価されたものです。

高岡理事長は受賞あいさつで「このたびの受賞は、成光苑にとっては、新たなスタートだと考えています。10年後も地域の人が一番頼りにできる法人として、現場の声を反映しながら継続的に進化し続け、本賞(最上位の賞)を目指したい」と決意を述べられました(写真)。

## 令和6年度 決算報告

### 【資金収支計算書】

(自)令和6年4月1日 (至)令和7年3月31日 単位:百万円

勘定科目	本部	保育	高齢・障害	公益・収益	内部消去	合計	
事業活動収支	収入	22	1,617	4,107	183	△5	5,924
	支出	48	1,378	3,722	140	△5	5,283
事業活動資金収支差額	△25	239	385	42	0	641	
施設整備等収支	収入	0	0	12	0	0	12
	支出	1	201	261	43	0	506
施設整備等資金収支差額	△1	△201	△249	△43	0	△494	
その他の活動収支	収入	118	138	75	10	△204	137
	支出	24	166	198	16	△204	200
その他の活動資金収支差額	94	△29	△123	△6	0	△63	
当期資金収支差額合計	68	10	12	△6	0	84	
前期末支払資金残高	658	225	1,615	53	0	2,550	
当期末支払資金残高	725	235	1,627	47	0	2,634	

(保育は認定こども園を含む)

### 【事業活動収支計算書】

(自)令和6年4月1日 (至)令和7年3月31日 単位:百万円

勘定科目	本部	保育	高齢・障害	公益・収益	内部消去	合計	
サービス活動収支	収益	2	1,593	4,075	169	0	5,839
	費用	32	1,415	3,960	168	△5	5,570
サービス活動増減差額	△30	178	115	1	5	270	
サービス活動外収支	収益	21	25	33	14	△5	88
	費用	19	20	18	4	0	61
サービス活動外収支差額	1	5	15	10	△5	27	
経常増減差額	△29	183	131	11	0	296	
特別収支	収益	113	36	64	0	△200	13
	費用	24	43	151	5	△200	23
特別増減差額	90	△8	△87	△5	0	△11	
当期活動増減差額合計	61	175	44	5	0	286	
前期繰越活動収支差額	829	839	4,288	54	0	6,010	
その他の積立金取崩額	0	100	0	0	0	100	
その他の積立金積立額	0	117	44	0	0	161	
次期繰越活動収支差額	890	997	4,288	59	0	6,235	

(保育は認定こども園を含む)

### 【貸借対照表】 成光苑全施設(社会福祉事業・公益事業・収益事業) 令和7年3月31日現在 単位:百万円

勘定科目		勘定科目	
科目	金額	科目	金額
流動資産	2,953	流動負債	625
		うち1年以内借入金・賞与引当金	297
固定資産(基本財産)	6,360	固定負債	1,894
その他の固定資産	3,732	負債合計	2,519
		純資産の部	
		基本金	609
		国庫補助金等特別積立金	2,355
		その他の積立金	1,326
		次期繰越活動収支差額	6,235
資産合計	13,044	負債及び純資産合計	13,044

## 令和7年度 資金収支予算

### 【資金収支計算書】

成光苑全施設(社会福祉事業・公益事業・収益事業) 単位:百万円

勘定科目	本部	保育	高齢・障害	公益・収益	内部消去	合計	
事業活動収支	収入	9	1,535	4,225	175	△5	5,939
	支出	28	1,389	3,853	134	△5	5,399
事業活動資金収支差額	△19	146	372	41	0	540	
施設整備等収支	収入	0	0	92	0	0	92
	支出	1	33	288	43	0	365
施設整備等資金収支差額	△1	△33	△196	△43	0	△274	
その他の活動収支	収入	120	0	152	10	△228	54
	支出	0	14	246	11	△228	43
その他の活動資金収支差額	120	△14	△94	△1	0	11	
予備費	0	99	0	0	0	99	
当期資金収支差額合計	101	0	81	△4	0	178	
前期末支払資金残高	731	223	1,621	53	0	2,628	
当期末支払資金残高	833	223	1,702	49	0	2,806	

(保育園は認定こども園を含む)

## 令和7年度 事業計画 時代が変わりゆく中でも、地域共生社会の実現を見据え「10年後も地域住民から一番頼りにされる社会資源になること」を目指すとともに、事業承継と持続可能な法人運営を推進する活動を展開する

### 1. 確実、効果的かつ適正な事業経営

- 財務管理の体制強化(経営状況の把握、分析)**
  - 経営企画会議・園長検討会の運営による法人の各部門の経営状況に応じた対策及び財務状況の安定を図るための経営分析の実施
  - 会計監査人や行政などの法定監査受審による適正かつ継続的な改善を担保するコンプライアンスの組織的維持・強化
- 人事・給与管理体制等の強化**
  - 各部門における人事・給与システムの整備充実による管理体制の強化
  - 高齢者・障がい部門施設長評価の実施(継続)及び保育部門の園長に対する園長評価の実施
- ICT化・DX化の促進**
  - 全部門におけるICT化の推進のためのハード面の充実(タブレット等の追加購入等)として、高齢者・障がい部門における介護ロボット機器やセンサー等の導入、ケアプランデータ連携システム等の導入の促進、保育部門におけるコモンのさらなる活用
  - 電子帳簿保存法・インボイス制度施行への対応による経理DXの取組みのさらなる推進
- 事業の継続に向けた体制整備**
  - 高齢・障がい部門におけるBCP(業務継続計画)の策定を機に、災害・感染症等

- の緊急時でも平常時対応が可能な業務の追求。保育部門においても努力義務化されたことに伴い、BCPの新規作成を進める。
  - ・公的助成制度を有効に活用した効果的・効率的な事業展開により即時対応することで、収支バランスを安定させ、継続的な事業運営を図る
- 適正な情報開示による経営の透明性の確保**
    - ・ホームページ、広報誌、WAM等による情報の適正開示(現況報告書・総括表、法人全体の事業報告・事業計画、財産目録、監査報告書、予算書・決算書、地域貢献活動状況等の各種活動状況、第三者評価受審結果等)
  - 法人本部体制の強化**
    - ・社会福祉法に則り、「経営組織のガバナンスの強化」「事業運営の透明性の向上」「財務規律の強化」について、法人本部として持続可能な体制整備(保育・高齢・障がい部門)を図りながら取り組む。このことにより、子どもから高齢・障がい者・児を含む全ての世代の地域の人々に対する社会福祉事業を展開する主たる担い手としての役割(説明責任)を果たせるよう、地域共生社会の一員として地域貢献できる法人の在り方を追求する

### 2. 福祉サービスの質の向上に向けた活動

- 法人理念の周知の徹底(理念等を冊子化した「和顔愛語」第2版の全職員への周知)**
  - 「和顔愛語」(第2版)の利活用により、すべてのスタッフに対し法人内全部門の経営方針を周知徹底し、部門間の連携強化と、法人理念等の浸透度、実践度の測定(全部門実施)
- 地域の福祉ニーズに対応したサービス事業の展開**
  - ・個々のご利用者の心身状態に応じた最善のサービスを提供するとともに、さらなるサービスの質の向上を常に念頭に置いた事業の展開
  - ・時代により変化するニーズを先取りし、その人(子ども、高齢者、障がい者・児)の可能性を伸ばす福祉サービスを展開する
  - ・各園・施設の現状に応じた福祉サービスの質の向上に向けた活動が継続できるよう計画の策定・進捗状況等の確認を実施

- 研修・マニュアル等の内容を適宜見直し、より最新で専門性の高いサービス展開を追求**
- サービスの外部監査(評価)の受審や内部監査の実施による評価・確認体制の整備**
  - ・外部・内部監査における受審状況及び評価結果の確認と結果に基づく改善計画等の作成
- 緊急時・非常災害時の組織体制整備【重点】**
  - ・災害、感染症等の非常事態を想定したBCPの実践・進捗管理ができる組織体制の整備充実
  - ・感染症拡大防止対策マニュアルの内容点検(緊急時の人員等体制や備蓄品等の整備)と周知

### 3. 人財確保と育成・定着

- 人事管理や給与体系をはじめとする処遇改善に向けた諸規程を改定等整備し、労働環境改善のための活動を助長することにより人財の確保・育成・定着につなげる**
  - ・資格取得支援等、新たな支援体制の運営や福利厚生への充実に向けた検討
  - ・令和7年4月から65歳までの雇用確保が義務化となることに向けての検討
  - ・障がい者雇用率の段階的な引き上げに応じた障がい者雇用の促進及び就労環境の整備
- 法人として求人活動内容全般を見直し、人財の確保につなげる**
  - ・人財確保に有効なホームページ・SNS・パンフレット等の充実等
- 優秀な実習生等を雇用へつなげる取り組み**
  - ・実習生の受入れ体制の充実(受入れ期間中が法人(園・施設)のアピールの絶好の機会)
  - ・実習生に対するアンケート調査の実施や実習元の学校等関係者との連携充実
- 各種関係機関との関係構築**
  - ・採用につながる関係構築を目的とした学校訪問と各種就職フェアへの参加
  - ・施設見学の積極的な受入及びその後の細やかなフォロー体制の構築
- 次世代を担う幹部やスタッフの育成体制の強化**
  - ・各部門における幹部職層を対象とした幹部を対象とした研修の企画

- 研修・育成体制の強化及び整備**
  - ・保育部門における外部委託(日本保育チームマネジメント協会)による継続的なマネジメント・組織体制の構築
  - ・高齢者・障がい部門の多様な人材育成への対応ができるよう現状を踏まえ、「ファーストステージプログラム(第5版)」の全面的な見直しを行い、令和6年度より運用開始。介護技術のマニュアルについて動画に移行した「はじめの第一歩」の運用開始。
- 外国人労働者の受入・教育体制の整備**
  - ・介護技能実習制度の発展的解消から育成就労制度への対応の検討及び在留資格「特定技能(介護)」による外国人労働者の受け入れに当たる体制整備(対象としてベトナム・フィリピン・中国・インドネシア人の受入)
  - ・グローバル人材プロジェクトを中心に、各受入施設において担当者を配置し、外国人スタッフの将来の幹部候補を念頭に置いた研修体制、キャリアパスの構築(フィリピン人を中心とした外国人リーダーの育成等)
  - ・介護福祉士の養成確保のための修学資金にかかる法人連帯保証(大阪府社会福祉協議会)の継続

### 4. 法人の特性を踏まえた取り組み

- 社会福祉法人としての使命を果たすため、各施設における地域貢献事業をより活性化させ、地域における公益的な取組みのさらなる充実・展開を図る
- 地域の福祉ニーズへの対応**
    - ・全園・全施設における地域における公益的取組みの充実と更なる展開
  - 各部門の種別を超えた連携による総合相談窓口設置**
    - ・全園・全施設における地域の総合相談事業の展開
    - ・高齢者・障がい部門全施設における潜在顧客調査委員会による地域ニーズの把握
  - 災害発生時の継続的な支援が可能となる体制の構築**
    - ・福祉避難所の整備と物資の備蓄等を踏まえたBCPの高齢者・障がい部門全施設で策定、PDCAサイクルで進捗管理
    - ・災害派遣福祉チーム(DWAT)の新規養成等による増員とスタッフ派遣
    - ・スタッフの派遣・義援金の寄付等の活動の推進

- 能登半島地震被災地支援の取組みとして、義援金及びDWAT・介護職員等の派遣等の協力
- 社会的援護を必要とする人々への支援**
    - ・生活困窮者にかかる支援体制への参画及び基金への提出
    - 大阪:「大阪いあわせネットワーク」/京都:京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」
    - ・生活困窮者自立支援法に基づく各施設での支援体制の整備等(中間的就労等の受入等)
    - ・協力雇用主制度に登録し、保護司と連携した刑務所出所者の雇用
    - ・居住支援法人としての活動の展開
    - ・孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム(内閣官房)への登録、実践及び事例報告等

## メッセージ



園長 菜里  
認定こども園千里丘愛育園  
2025年度入社

### コミュニケーションすることが好き すべてを受け止める気持ちで接しています

—自分のどんな所が今の仕事に生きていますと感じますか?  
人とコミュニケーションを取ることが好きなので、人と関わる保育の仕事は、私に向いていると思います。入社直後は、子どもたちの思いや行動を理解することに苦労しました。しかし、全てを受けとめる気持ちで接するうちに、「先生!」「先生!」と様々な角度から呼び声がかかるようになり、日に日に子どもたちとの距離が近づいていることが実感できるようになりました。まだまだ保育者として不安や悩むこともありますが、同期や心強い先輩にも相談しながら自分のスキルも上げていきたいです。

## 保育現場ですぐに生かせる実践型研修も

保育部門では3月25日、令和6年度愛育園合同研修が摂津市立コミュニティプラザで行われ、令和7年度新規採用者11名を含む89名の保育スタッフが参加しました。高岡園土理事長はあいさつで「愛育園のスタッフとして目標・目的意識を持ち続け、保育の専門性と人間力を高めてほしい」と激励されました。



愛育園合同研修会に89名参加

午前中は、令和6年度から取り組んでいる「地域一番店ネットワーク」(「ききょう」2024秋号掲載)について、「組織が大切にしなければならないこと」がテーマ。主に新規採用者対象の事前ガイダンスとして(一社)日本保育チームマネジメント協会 代表 上田まどか氏が講演されました。午後の全体研修では、保育現場ですぐに生かせる実践型研修。よみきかせボランティアグループ「えほん三丁目の鷹」主宰の鈴木健司氏を講師に迎え、同氏が実際に子どもたちに絵本を読んでいる場面を動画視聴(写真)。声のトーン・間の取り方など、読み聞かせの質を高める内容。「文字の書き方(縦横)で絵本の持ち方を変えることを初めて知って驚いた」などの感想が聞かれ、保育のスキル向上だけでなく、保育者自身のやりがいや楽しさが広がるのが期待されます。

## 令和7年度研修計画(保育部門)

保育者としての専門性を高める研修だけでなく、外部委託による継続的なマネジメント・組織体制の構築に関する事項について継続的に検討する。また、次世代の育成にも焦点をおき、幹部職層・中堅層を中心としたマネジメント能力の向上を図るとともに、将来を見据えた中長期計画の策定等を進める。

### 《保育部門 法人全体研修・各種検討会等》

研修名	対象者・回数	内 容
愛育園 合同研修会	全スタッフ・年1回(新規採用者含む)	年度ごとにテーマを設定し、外部講師による講義等も含め、全園保育スタッフ及び新規採用者が参加する研修会の実施(参集型で検討)
保育基礎研修	新人～3年目程度(年1回・年度途中でフォロー)	各園の副主任・副主任幹や中堅リーダーが講師となり、①心得・マナー、②平常保育・安全管理、③子どもの人権等をテーマにした研修会の実施
安全管理研修	全スタッフ	外部講師による研修。様々な事例を通して、危機管理意識を高め、事故防止に繋げる
人権保育研修	全スタッフ	外部講師による研修。子どもの人権擁護について意識を高め、自らの保育を振り返る機会とする
障がい児保育研修	全スタッフ	障がい児を受け入れる時の基本となる姿勢など基礎知識を獲得するとともに、個別対応についてはケース会議を通じてコロリスとの連携の強化を図る
地域子育て支援対策委員会	各園子育て支援担当者・コロリス	各園の地域子育て支援事業の充実のための協働活動を実施。コロリスも参画し、地域の子育て中の家庭に対する情報発信として育児に関連する動画等を配信
給食担当者会議	給食担当者(エリア別)	給食試食会や子どもへの食事の提供の充実のため献立等の共有や試食会。給食担当者の衛生管理体制の確認及び食品構成表など必要書類等業務の効率化の検討等
保育基礎研修実行委員会	副主任/副主任幹、中堅リーダー等・年3回程度	保育基礎研修をはじめとし、保育部門の育成体制の構築に係る事項の検討を地域一番店のEチーム(新人育成)と連携をしながら進める
不適切保育(虐待)防止・対応マニュアル検討会	必要に応じて開催	法人統一の「不適切保育対応マニュアル」を活用し、各園で未然に防ぐ活動を展開。必要に応じて情報共有の場を設定する
園長検討会	全園長・年6回(偶数月)	検討事項について園長自ら提案し、管理者として情報共有を図り、改善に向けた検討を行う。また、エリア単位で必要に応じて開催をする
定例園長会	全園長・年6回(偶数月)	内部コミュニケーションの強化及び教育・保育サービスの質の向上等を図る

\*公開保育については、大きな法人の強みでもあることから、園単位で現状を踏まえてテーマを設定して随時実施することとする。

### 自分の忍耐力についても考えます 子どもが挑戦する姿に胸が熱くなります

—学生の皆さんにメッセージを  
私は、保育実習を通じて、年齢による違いや、一人一人の個性を肌で感じることで、学校の教科書だけでは学べない多くのことに気づかされました。実際に保育者になって思うことは、うまく子どもと関われなかったりする中で、自分の忍耐力についても考えるようになったり、苦手だったことに挑戦する姿を見た瞬間は、胸が熱くなり、子どもと関わることの喜びを感じます。社会人になるまでに学生生活でやり残したことがないように今を精一杯楽しんでください。

## 保育の柱として質の向上を目指す

### 20年ぶりのわらべうた研修に13名参加

くろみ愛育園・くろみ小規模保育園

くろみ愛育園の保育スタッフ(10名)とくろみ小規模保育園の保育スタッフ(3名)は4月19日、約20年ぶりにNPO法人神戸コダーイ芸術教育研究所 松本久美子氏を講師に招き、「わらべうた研修」を行いました。

両園は、これまででも保育の柱として「わらべうた」に慣れ親しみ、園内研修でも学んでいましたが、保育スタッフの入退職や保育内容を振り返るうえでも、あらためて外部講師から学ぶことにしました。初めて受講する保育スタッフがほとんどでしたが「小さい頃の記憶が思い出され、(松本講師)の歌声が心地よく気持ちも和みました」という感想が聞かれました。

今後も年齢(発達)に応じて言葉の響きなどを使い分けながら子どもの自信や主体性を育て、保育の質の向上も目指す考えです。



## 令和6年度研修報告(保育)

	研修名	対象者
4月	保育基礎研修	初任者
	保育基礎研修実行委員会①	中堅
	園長検討会①	管理者
	定例園長会①	管理者
5月	絵本の読み聞かせ	全職員
	スイミング研修	初任者
	【日マネ】ガイダンス	全職員
6月	子育て支援対策会議①	担当者
	不適切保育マニュアル研修	全職員
	園長検討会②	管理者
	園長検討会③	管理者
7月	定例園長会②	管理者
	不適切保育マニュアル検討会①	中堅
	園長検討会④	管理者
	園長検討会⑤	管理者
8月	【日マネ】レクチャー会	全職員
	不適切保育マニュアル検討会②	中堅
	園長検討会⑥	管理者
	定例園長会③	管理者
9月	子育て支援対策会議②	担当者
	園長検討会⑤	管理者
	【日マネ】顔合わせ	全職員
	園長検討会⑦	管理者
10月	保育基礎研修実行委員会②	中堅
	安全管理研修	全職員
	【日マネ】顔合わせ	全職員
11月	園長検討会⑧	管理者
	定例園長会④	管理者
	子育て支援対策会議③	担当者
12月	保育基礎研修実行委員会③	中堅
	不適切保育マニュアル検討会③	中堅
	園長検討会⑥	管理者
1月	園長検討会⑨	管理者
	子育て支援対策会議④	担当者
2月	苦情解決出前講座(北摂)	指導者
	園長検討会⑩	管理者
3月	苦情解決出前講座(大阪市内)	指導者
	定例園長会⑥	管理者
3月	保育基礎研修実効委員会④	中堅
	愛育園合同研修会	全職員

### 「おせっかいかなあ?」…でも行動します 体力には自信あります

—自分のどんな所が今の仕事に生きていますか?  
7歳違いの兄(2018年4月～現在、同施設在籍中)からも可愛がられ、幼少期から人とコミュニケーションを取ることが好きな性格です。周りで困っている人を見ると、「おせっかいかなあ?」と少しでも自問自答しながらも必ず行動するようにしています。両親が丈夫な体に産み育ててくれ、今のところ体力にもかなり自信があるので、介護の仕事に役立っていると感じます。

### 学生時代を振り返ると悔いはありません 目一杯青春してほしい

—学生の皆さんにメッセージを  
入社1年目、年齢も経験も一番若い私ですが、先輩の支えやご入居者との関わりから、社会人としての責任や介護の専門職としてのやりがいを実感しています。(数か月前の)学生時代の自分を振り返ると、後先をあまり考えずに時間を過ごしていたようにも思えますが、悔いのない充実した学生時代でした。社会人になってから気づくこともあります。学生時代にしかできないことがあると思いますので、やり残したことがないように、目一杯青春してほしいです。そして、介護の仕事をするなら、私の職場で一緒に働きましょう。

## 就活生応援



松本 圭太  
ライフ・ステージ 舞夢  
2025年度入社

## 浄水場まで 徒歩往復で給水

### 断水想定災害訓練

吹田竜ヶ池ホーム

吹田竜ヶ池ホームでは3月27日、同施設に設置している貯水槽のポンプ交換のタイミングを活用して、断水想定災害訓練を実施しました。  
佐藤浩之同施設長らは“徒歩移動の給水チーム”として、同施設から片道徒歩15分の吹田市片山浄水場(\*)まで、台車と車いすを手押しで往復(写真)。給水タンク(20リットル×2個)を積んで戻りますが、“歩道の点字ブロック”の振動で何度も台車からずり落ちるといった苦労も。またスタッフ、ご利用者も災害トイレを使用体験、水洗設備が機能できない時に必要な水の使用(備蓄)量についても検討・確認する機会になりました。



(\*)吹田市片山浄水場 災害時給水拠点として、災害時の広域的な断水に備えるため、市民がその場で水を受けられる常設型応急給水栓と給水タンク車への注水設備を設置

### 研究テーマ

## 「ご利用者の主体的なアクティビティーの実践」が最優秀賞

### 高槻けやきの郷認知症対応型通所介護 阪口卓実生活相談員

### 〈第19回研究発表会〉

第19回研究発表会(成光苑主催)が2月22日、せつ桜苑でハイブリッド開催され、高槻けやきの郷認知症対応型通所介護の阪口卓実生活相談員(写真右)が最優秀賞を受賞しました。  
発表テーマは、「ご利用者の主体的なアクティビティーの実践」城仁士審査員長は「2022年度からの継続研究で、その人らしさという点に焦点化し、選択できるアクティビティーをさらに拡大して、自主性を高めることで意欲・QOLが向上し、BPSDの軽減を検証している」と高い評価。また「次回(第20回)は、節目の特別企画と聞いているので楽しみにしたい」と期待が寄せられました。



## 令和6年度研修報告 (高齢者・障がい)

	研修名	エリア等
4月	認知症ケア研究会	全体
	人財育成研修プロジェクト会議	全体
	ファーストステージ研修I	全体
5月	ファーストステージ研修II	地域別
	ファーストステージ研修II	地域別
6月	人財育成研修プロジェクト会議	全体
	はじめの第一歩改訂プロジェクト	全体
	ファーストステージ研修II	地域別
7月	認知症ケア研究会	全体
	ファーストステージ研修II	地域別
	ファーストステージ研修II	地域別
8月	はじめの第一歩改訂プロジェクト	全体
	キャリアアップステージ研修I-①	全体
	人財育成研修プロジェクト会議	全体
9月	キャリアアップステージ研修I-②	全体
	キャリアアップステージ研修II-①	全体
	はじめの第一歩改訂プロジェクト	全体
10月	ファーストステージ研修II	地域別
	認知症ケア研究会	全体
	ファーストステージ研修I	全体
11月	人財育成研修プロジェクト会議	全体
	はじめの第一歩改訂プロジェクト	全体
	ネクストステージ研修I	全体
12月	認知症ケア研究会	全体
	はじめの第一歩改訂プロジェクト	全体
	人財育成研修プロジェクト会議	全体
1月	キャリアアップステージ研修I-II	全体
	認知症ケア研究会	全体
	はじめの第一歩改訂プロジェクト	全体
2月	人財育成研修プロジェクト会議	全体
	ファーストステージ研修III	全体
	グローバル人財プロジェクト	全体
3月	ファーストステージ研修II	地域別
	はじめの第一歩改訂プロジェクト	全体
	人財育成研修プロジェクト会議	全体
	ファーストステージ研修II	地域別

## 令和7年度研修計画(高齢者部門・障がい部門)

多様な人財育成への対応ができるよう現状を踏まえ、「ファーストステージプログラム(第5版)」及び全面改訂し動画化した基本マニュアル「はじめの第一歩」に基づいた指導を行う。また、階層別研修だけでなく、各種プロジェクトに参加することで次世代のリーダーの育成につなげる。

### 〈高齢者及び障がい部門 法人全体研修〉

研修名	対象者・期間	目的・内容
ファーストステージ研修I-II	入職1年未満の新任スタッフ ※I: ①主に新卒者 ②中途採用者対象 ※II: 年3~4回地域別で実施	・研修I: 福祉人・職業人・組織人としての在り方、求められる人材像、ビジネススキルの基礎、マナー、法人の各種取り組みへの理解等 ・研修II: 法人の仕組み、活動の基礎、人権擁護、リスクマネジメント、介護技術等
ファーストステージ研修III	ファーストステージ研修I-IIの受講者 ※III: 各施設で設定	・研修III: 1年間を振り返り内省と成長の促進 2年目へのステップアップ
ネクストステージ研修I~III	概ね2年以上の経験のある者(先輩スタッフとして新任を育成・サポートする者)	OJTの主体者として育成に貢献できるスタッフ ・新任職員を指導するための教授法 ・チームでの良好な関係構築や部下指導のためのコミュニケーションスキルの習得
キャリアアップステージ研修I-II	※I: ネクストステージ研修修了者~6等級で役職に就いていない新任スタッフ育成担当者 ※II: 主任・係長・施設長が推薦するスタッフ	各等級に求められる課題分析手法や知識の習得 ・研修I: チーム内における部下育成担当者としての役割認識、ファーストステージプログラムの仕組みの理解と評価。 ・研修II: チャレンジシート目的理解とチャレンジシートを用いた指導育成面談技法の実践
キャリアアップステージ研修III	※III: 施設長・部長・課長	・研修III: 法人本部主導で設定した研修テーマ等に基づき、管理職としての資質・見識の向上

## 令和6年度 事業報告 孤独・孤立が進む社会の中で、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に寄与していくことを念頭に、法人全体の各福祉サービスの在り方についてさらなる検討を進めた1年

### 1. 確実、効果的かつ適正な事業経営

- 財務管理体制の強化  
・年6回の「経営企画会議」、年10回の「園長検討会」を通じて、部門ごとの経営状況に応じた対策を実施し、経営分析に基づく財務の安定化を図る。
- 人事・給与管理体制の強化  
・各部門で人事・給与システムを整備・充実し、管理体制を強化。  
・高齢者・障がい部門:施設長評価(継続)/保育部門:園長評価の周知および自己評価の実施を推進。
- ICT化・DX化の促進  
・ICT環境の整備(タブレット等の導入)により、業務の効率化を推進。  
→高齢者・障がい部門:ICT補助金を活用し、介護ロボット・センサー等を導入。  
→保育部門:保育ICT「コモン」の活用、午睡センサーの導入。
- 事業継続体制の整備  
・高齢者・障がい部門:BCPに基づく訓練を実施/保育部門:全園で新たにBCPを策定。  
・公的助成制度を活用した即応体制を構築し、収支バランスの安定を確保。
- 情報開示と経営透明性の確保  
・WAMネットにて、法人情報や各種報告書等を適正に開示。

- ・広報誌「ききょう」(年3回発行)を通じて法人情報を広く公開。
- ・第三者評価を受審し、その結果をホームページ等で公表。
- 6.日本経営品質賞への申請  
・高齢者・障がい部門の次世代リーダーが中心となり日本経営品質賞へ申請し、「奨励賞」を受賞(認証期間:2025年2月4日~2028年2月3日)。  
・受賞結果をもとに、保育部門を含めた法人全体の課題を明確化し、「ありたい姿」の実現に向けた継続的な活動と部門連携体制を検討。
- 7.新規事業等  
・せつ桜苑における老人福祉センターの一部を通所介護の浴室や喫茶コーナー等に改修し、環境改善と多世代交流事業の開始  
・一津屋愛育園に隣接する土地を取得。(仮称)第二コリス(児童発達支援、放課後等デイサービス、障がい児相談支援)の開設に向けた補助金申請及び交付決定を受け、令和7年度は開設に向けた準備室の設置等整備を図る。
- 8.ISO9001システムの適用範囲の拡大  
・ISO拡大更新変更審査の受審(令和6年5月7~10日)し、ライフ・ステージ夢咲(介護・障がい部門)も新たにISO認証資格を取得し、ISO9001システムの適正な運用ができる体制を構築

### 2. 福祉サービスの質の向上に向けた活動

- 法人理念等の周知の徹底及び冊子化した「和顔愛語」第2版の全職員への周知・和顔愛語第2版に基づく浸透度、実践度の測定を全部門において毎年1回実施
- 地域の福祉ニーズに対応したサービスの展開  
・時代により変化するニーズを先取りし、その人(子ども、高齢者、障がい者・児)の可能性を伸ばす福祉サービスを展開するため、各種外部団体等の会議・研修等に参加し、ニーズ把握
- 研修・マニュアル等の内容を適宜見直し、より専門性の高いサービス展開  
・サービスの専門性・最新性を確保するため、研修・マニュアルの内容を随時更新・強化。
- サービスの外部監査(評価)の受審や内部監査の実施による評価・確認体制の整備  
・高齢者・障がい部門での内部監査(年2回)を実施し、評価結果を分析・改善計画へ反映。  
・ISO外部定期審査の受審及び介護保険法等に基づく自主点検表による自己チェックの実施
- 緊急時・災害時の対応体制の強化【重点】  
・災害・感染症などの非常事態に対応可能なBCP体制の整備・進捗管理を推進

- (保育部門も全園がBCP作成)
- 6.リスク管理体制の整備  
・保育部門における園児の取り残し防止及び出欠確認の徹底  
・高齢者・障がい部門の全施設における部署別の事故報告分析の実施
- 7.全部門における不適切な対応と虐待防止に向けた体制整備  
・保育部門における不適切保育に関するマニュアルの新規策定と運用  
・高齢者虐待防止対応マニュアルの全面改訂及び障がい者虐待防止・対応マニュアルの運用。
- 8.高齢者全施設における認知症ケアの充実のための体制整備  
・認知症ケアの質の向上に加え、在宅生活の継続を目的にした事例検討。
- 9.全部門における顧客満足度調査の実施  
・調査結果に基づき、改善策を立案するとともに顧客へのフィードバックを実施。
- 10.法人内部門間連携の強化  
・法人内各部門及びその他外部関連機関と連携した総合的サービスの提供。

### 3. 人材確保と育成・定着

〔人事・採用・育成体制〕処遇改善と人材確保・育成・定着に向けた主な取り組み  
<人材確保活動結果>

○採用者数(令和6年4月1日~令和7年3月31日)の新卒者等の正規採用者

	四大卒	短大・専門卒	高卒	一般	合計
保育部門	4	7	0	2	13
高齢者・障がい部門	0	6	1	16	23
合計	4	13	1	18	36

- 処遇・労働環境改善の取組  
・実務者研修資格取得支援等のキャリア形成支援を継続。  
・65歳までの雇用義務化に向けて、定年再雇用規程を見直し、高齢者雇用促進の環境を検討。  
・障がい者雇用の促進(年間平均雇用率3.58%)および就労継続支援A型事業所との業務連携(清掃業務委託)を推進。  
・離職率(中途採用者)反映方式  
保育部門:14.4%(前年比-0.7)/高齢・障がい部門:11.4%(前年比-0.1)と改善傾向。  
・カスタマーハラスメントへの対応に関する方針の公表及び規程の新規策定
- 法人として求人活動内容全般の見直し  
・ホームページ・SNS・パンフレット等を整備・拡充。高齢・障がい部門ではリクルート動画・パンフレットを新規作成・運用。  
・各園・施設のホームページ採用情報の定期的な更新体制を整備。保育部門では令和7年度より全園でInstagramの運用開始。

### 4. 法人の特性を踏まえた取り組み

- 地域の福祉ニーズへの対応  
○全施設において、地域における公益的取組みの充実・展開を推進(※詳細は各施設計画参照)  
○生活困窮者支援に係るネットワーク・基金への参画・提出  
・大阪「大阪しあわせネットワーク」/京都「わかプロジェクト(京都地域福祉創生事業)」  
・生活困窮者自立支援法に基づく中間的就労等の受入体制を整備(実績:0件)  
・協力雇用主制度への登録を継続(刑務所出所者の雇用支援:実績0件)  
・居住支援法人としての活動吹田市居住支援協議会に参画(総会年2回、部会月1回)  
・住宅確保要配慮者支援(相談4件・入居成立1件・入居後支援1件)  
○社会的援護が必要な層への支援  
・「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム(内閣官房)」への登録・情報収集等

- ・スマートフォンなどに適した求人ツールや表現の工夫を検討。
- 3.優秀な実習生等を雇用へつなげる取り組みの充実  
・採用につながる関係構築を目的とした学校訪問(卒業生の学校を中心に訪問)  
・学内フェアも含めた各種就職フェアへの参加  
・施設見学の積極的な受入及びその後の細やかなフォロー体制の構築
- 4.次世代を担う幹部やスタッフの育成体制の強化  
・法人幹部研修等を実施し、キャリアパスを具現化できる研修・組織体制を整備。
- 5.高齢者・障がい部門における外国人労働者の受入・育成体制の整備  
・グローバル人財PJを編成し、京都・大阪エリア合同で外国人スタッフの交流会(テーマ設定をした発表会)を実施(10月)。

エリア	種別	人数	国籍	種別	人数	国籍	
大阪	特定技能(調理)	1名	ベトナム	京都	技能実習生	9名	ベトナム
	特定技能(調理)	1名	タイ		技能実習生	2名	インドネシア
	技能実習生	2名	ベトナム		特定技能	3名	ベトナム
	特定技能	2名	ベトナム		特定技能	11名	フィリピン
	正規雇用	3名	ベトナム		正規雇用	2名	ベトナム
	非常勤雇用	1名	フィリピン		正規雇用	3名	フィリピン
合計	10名		非常勤	2名	フィリピン		
			合計	32名			

- 他法人との交流による研究発表会の開催  
・高齢・障がい部門において、研究成果の発表機会を確保するため、5法人参加の研究発表会(第19回)を開催。

- 地域子育て支援事業の充実  
・妊婦・子育て家庭向けに、動画による情報発信を実施(12種配信/ロゴマーク新規作成)
- 2.総合相談窓口の設置と部門連携の強化  
○種別を超えた横断的な地域総合相談事業を展開  
○高齢・障がい部門による「潜在顧客調査委員会」を通じて、地域の潜在的ニーズを把握
- 3.災害発生時の支援体制の構築  
○高齢・障がい部門全施設で、福祉避難所整備とBCP策定、PDCAによる進捗管理  
○災害派遣福祉チーム(DWAT)への参画推進(登録者計12名:京都5名、大阪7名)  
○スタッフ派遣・義援金寄付・避難所サポーター研修など、非常時に備えた体制整備

## 初めての家族懇談会に23名のご家族参加



ライフ・ステージ 夢咲

ライフ・ステージ 夢咲（地域共生型総合福祉施設：高齢・障がい）では5月25日、「家族懇談会」が初めて開催され、23名のご家族が参加されました。

山本幸一郎同施設長のあいさつの後、ご家族から「食事摂取量の確認」、「レクリエーションの内容」などの多くの質問にも応対（写真）、さらにスタッフとの昼食会でも懇親を深めました。障がい福祉事業は、ご家族と一緒に「生八つ橋」（\*）づくりを体験。初めてのお菓子づくりという方もあり「こんなんでええかなあ」と親子で会話も弾ませました。

今後もご本人とご家族の思いを施設運営に反映する貴重な機会として、内容を充実していきたいと考えています。



(\*）生八つ橋 米粉、砂糖、ニッキを主原料とした生菓子

## 無料巡回バス活用で大盛況

### 元気まつりに118名参加

高槻けやきの郷

高槻けやきの郷は6月7日、「元気まつり2025～若さと健康、いきいき笑顔!!～」が行われましたが、同施設在宅サービスのご利用者から「行きたいけど行かれへん（移動方法がない）」というご相談から、送迎用車を無料巡回バスとして活用、例年を上回る118名もの地域住民が参加されました。

講座テーマは、『未来を見つめて…』株式会社霊園・墓石のやしる 営業本部 本社営業課長 為房佳宏氏は“エンディングノート”（\*）について講演。「介護やお墓のこと、ご家族に自分の希望や感謝の気持ちを記しておくことで、ご家族の負担やお互いに後悔を減らすことができます」の説明に、幾度も頷かれる姿が。健康に関連する企業協賛ブースでは、『骨の強度測定』（株式会社BHC CORPORATION）に人だかり（写真）、「カルシウム取らなあかなあ」に笑いが広がるなど健康への関心の高さが感じられました。



(\*）エンディングノート 自分に「もしもの事があつたとき」に備えて、家族や友人に伝えたい情報や希望を書き留めておくためのノート

## 介護の仕事に興味を持ちました

中学生職場体験学習の名受け入れ

ライフ・ステージ 舞夢

ライフ・ステージ 舞夢では（5月21日・22日）、舞鶴市立加佐中学校生2年生2名が職場体験学習で来訪されました。



施設見学の後、学生さんからスタッフへのインタビューやご入居者と敷地内の畑でゴーヤの苗植えを行い「こうやってする（植える）んよ。上手やなあ」と微笑ましい交流の場面も見られました（写真）。ともに職場体験学習は初めてということでしたが「スタッフさんはみなさん優しく、介護の仕事に興味を持ちました」という感想も。担当スタッフにとって、あらためて仕事の魅力を実感できる瞬間でした。今後も明るく元気にアピールする考えです。

- 【交通弱者の移動支援の取り組み】
- 【リハビリ機器の地域への開放】
- 【地域住民の居場所づくり（喫茶等）】
- 【子ども食堂の実施及びネットワーク会議等への参加】

## 令和6年度地域貢献活動報告

- 【各園の保育室、園庭、絵本室等の開放、絵本の貸出】
- 【「赤ちゃんの駅」の登録】
- 【保育士等による専門性を活かした講座の開催】
- 【公民館を利用した地域での制作活動】

高齢者・障がい部門	保育部門 ※一部、児童発達支援含む
【地域に焦点を当てた事業展開】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>交通弱者の移動支援の取り組み（過疎地域有償運送）の運行（4往復/日） 延べ利用者数：2105名（前年度比約360名増）（内、地域利用1201名：前年度比約45名増）</li> <li>福祉有償運送（移動困難者に対して安価での移動支援）の運行</li> <li>地域行事への積極的な参加及び地域との共催による行事の実施（夏祭り・花火大会等）</li> <li>リハビリ機器の地域への開放（感染対策を講じて再開）</li> <li>地域交流スペースの喫茶は感染対策を講じて開放</li> <li>エリア別での地域ニーズ調査委員会の継続的な開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子教室での年齢に応じた遊びの提供（製作、リズム、絵本の読み聞かせ等）</li> <li>各園の保育室、園庭、絵本室等の開放、絵本の貸出</li> <li>園の季節の行事への招待及び地域の親子を対象とした独自のイベント開催</li> <li>赤ちゃんの駅（おむつ替えや授乳ができる施設）の登録</li> <li>妊産婦への支援</li> </ul>
【地域における福祉推進】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設における地域の総合相談窓口の設置及びその周知</li> <li>認知症あんしんサポート相談窓口、認知症カフェ等開設</li> <li>相談援助活動へのスタッフ派遣及び介護相談会の実施</li> <li>地域住民の居場所づくり（喫茶等）</li> <li>独居高齢者への配食サービス</li> <li>民生委員等との連携（交流勉強会への参加等）</li> <li>介護職員初任者研修・実務者研修への講師派遣（京都）</li> <li>外部主催の認知症サポーター養成研修をはじめとする認知症関連研修への講師派遣</li> <li>農閑期の閉じこもり防止を目的としたサロン活動の実施</li> <li>高齢者のボランティア支援とボランティア担当者の配置</li> <li>認知症サポーターキッズ養成講座の開催</li> <li>「小中学生対象・次世代の担い手育成事業」や小中学生の職場体験及び社会福祉体験学習等の受入</li> <li>こどもを守る110番運動への参画</li> <li>介護、看護、相談援助等の専門職実習生の受入</li> <li>子ども食堂の実施及びネットワーク会議等への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>育児相談の一環として地域の保護者向けに、子どもの健康やふれあい遊び、絵本に関する情報を掲載した通信を自主作成し無料配布</li> <li>コロナ禍でも育児に係る情報（育児に係る悩みへの対応、手作り玩具等）を家庭でも知ることができるようYouTubeで発信及びホームページへのアップ（全部門が参画）</li> <li>育児相談員およびスマイルサポーター（大阪府知事認定）による育児相談窓口の設置（来所・電話等）</li> <li>保育士等による専門性を活かした講座の開催</li> <li>地域の子育て支援担当者間の情報交換会への参画</li> <li>公民館を利用した地域での制作活動</li> <li>一人暮らし高齢者宅の訪問（七夕飾り等の宅配）</li> <li>保育士養成校からの保育士養成実習の受入</li> <li>近隣の高齢者を招待した行事の開催や居場所づくり、生きがい支援（手作り玩具等）</li> </ul>
【社会的援護を要する人々への支援】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>孤独・孤立対策官民連携プラットフォームへの登録</li> <li>生活困窮者自立支援法に基づく中間的就労の受入（実績は1名：合計5日間）</li> <li>協力雇用主制度による刑務所出所者の雇用に向け協力雇用主として登録（実績は0名）</li> <li>高齢者世帯及び生活困窮母子家庭世帯への配食サービス及び安否確認</li> <li>火災で自宅消失の高齢者の緊急受入（サポートハウス）</li> <li>社会福祉法人等利用者負担軽減制度、特別地域加算減免事業、通所サービスの食費負担軽減の実施</li> <li>地域の高齢者からの通報への対応（24時間365日）</li> <li>日本財団「夢の貯金箱」（自動販売機の飲料売り上げのうち10円を寄付）の全施設設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪しあわせネットワークへの参画・基金への拠出及び大阪全施設にCSWを配置。</li> <li>京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」への参画（基金への拠出等）</li> <li>障がい者就労継続支援A型事業所からの受入及び雇用の促進</li> <li>市主催のフードバンク支援への参画</li> <li>住居確保要配慮者への支援として吹田市居住支援協議会への参画と居住支援法人としての活動</li> <li>地域の生活保護受給者への初任者研修費用の貸付や物価高騰に係る助成金の手続き支援</li> </ul>
【国際交流】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用する在日外国人スタッフへの日本語勉強会（つぼみの会）等の実施及び日本語能力検定受験への支援</li> <li>地域の在日外国人（フィリピン）の雇用及び住居の整備等</li> <li>外国人人材の資格取得支援対策講座の開催</li> <li>在日外国人への各種資格取得や交付金の申請に係る手続きの支援・代行</li> <li>グローバル介護職員初任者研修の開催</li> <li>介護技能実習生、特定技能のスタッフの受け入れにあたる関連機関との連携強化等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多国籍の子ども・保護者とのコミュニケーション支援</li> <li>近隣の小学校との異文化交流</li> </ul>
【地域団体などとの連携の取り組み】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>地区の福祉推進協議会や施設・事業者連絡協議会等への参加による地域連携強化・スタッフ派遣</li> <li>地区の福祉推進協議会や地域貢献委員会等への参画</li> <li>自治会活動へのスタッフ派遣</li> <li>地域のイベントへの参画（作品展への出展等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の老人会・民生委員・主任児童委員・自治会長等との連携（イベント等はコロナのため中止）</li> <li>中学校区における地域教育協議会への参画</li> </ul>
【災害支援・環境対策】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会等地域との防災協定の締結（総合防災訓練はコロナのため中止）</li> <li>FM舞鶴と提携し、送受信設備の施設敷地内の設置及び災害発生時の被害情報提供体制の確立（対象事例無し）</li> <li>原子力災害対策の推進</li> <li>地域の福祉避難所としての指定、防災倉庫の設置等災害発生時のネットワークの構築</li> <li>災害派遣福祉チーム（DWAT）への参画を促進するため、登録者を新規養成（京都1名、大阪1名）し、増員を図った（京都5名/大阪7名 合計：12名）。DWAT研修への講師派遣</li> <li>感染症発生時における職員の相互応援に関する協定に係る派遣職員候補者の登録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の草抜き・清掃活動への参加</li> <li>牛乳ノック、ヘルマーク、エコキャップ運動の実施</li> <li>グリーンカーテンの栽培</li> <li>全園における節電活動</li> <li>エコ育の更なる充実</li> <li>日本赤十字共同募金への募金</li> </ul>
【独自の取り組み】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>京都府高齢者あんしんサポートハウス（低所得者に対応した家賃設定）の運営</li> <li>耕作放棄地を活用したかがやき農園の取り組み及び農地管理会等と連携した農福連携事業の推進</li> <li>地元企業（大江山食品）や福祉ネイリスト協会との協働活動</li> </ul>	

## コーチ指導でドッジボール白熱



東生野愛育園・くるみ愛育園

東生野愛育園の5歳児クラス（21名）とくるみ愛育園の5歳児クラス（18名）は5月21日、同エリア（大阪市生野区）で小学校対象ドッジボールクラブの監督をされている吉川博久さんを臨時コーチに招き、昨年に続いて「あ

そぼう会」でドッジボール交流を行いました。

「そんでええよ！外野にはしっかり声かけるんやで！」の一声でゲームは白熱の展開に。「的確な指導で子どもたちの動きも良くなりますね」と保育スタッフも納得の表情。次回も来園指導が決まり、地域との更なる関係づくりを図る方針です。

## シール貼りに親子で大はしゃぎ

「みんなで作ってあそぼう」に6組

認定こども園正雀愛育園の古川弓子保育スタッフ（子育て支援担当）ら3名は4月17日、安威川公民館講座（摂津市主管）の「みんなで作ってあそぼう」（年3回開催）に参加協力し、就学前の6組の親子と触れ合い遊びを楽しみました。



認定こども園正雀愛育園

制作の「紙コップから飛び出す玩具」では、親子でカラフルなシール貼り。「この子がシール貼り大好きなんです」と親子で大はしゃぎ（写真）。次回も新たな企画で遊びを盛り上げる考えです。

## 手づくり玩具コーナーに続々！



認定こども園一津屋愛育園

認定こども園一津屋愛育園の川崎純子保育スタッフ（子育て支援担当）ら5名は5月11日、「令和7年度せつつしこどもフェスティバル」（摂津市教育委員会主催）で手づくり玩具コーナーを出展しました。

紙皿プーメラン150枚（写真）、紙コップけん玉160個、アンパンマンコマ155個を用意。今回も10時スタート直後から親子連れが続々と詰めかけ、「家でも簡単に作れて楽しめますね！」と賑わいました。

愛育園★キッズステーション（成光苑の子育て支援チャンネル）で作り方をご紹介します！（QRコードから）



「せつつしこどもフェスティバル」